

2021年度 決算の お知らせ

収入合計	33億 448万円
支出合計	32億1,900万円
収入支出差引額	8,500万円



アボット健康保険組合の2021年度決算が、2022年7月21日に開催された第26回組合会において、可決、承認されましたのでご報告いたします。

一般勘定

概要

保険料収入の伸び悩みと、納付金の大幅な増加により、前年度より厳しい決算状況となりました。別途積立金を繰入れ、何とか黒字になりましたが、黒字額は8,500万円となり、昨年度（6億1,000万円）より大幅に減少しました。なお、決算残金のうち20万円は財政調整事業繰越金、残りは別途積立金口座に繰り入れました。

収入について

収入の大部分を占める「保険料収入」は、被保険者は若干増加したものの、平均標準報酬月額および総標準賞与額が減額となったため、予算額より1億3,200万円減の33億4,480万円となりました。

支出について

前年度決算ではコロナ禍による受診控えの影響もあり、保険給付費（みなさまが病気やけがをしたときの医療費等）はやや減少しましたが、2021年度は被保険者増の影響もあり、対前年比1億410万円増の11億4,600万円となりました。ただ、予算においては受診控えの反動等を考慮し12億5,900万円を見込んでいたため、予算比では

91.0%の支出にとどまりました。

一方で大きな伸びとなったのが、健康保険組合が高齢者の医療費のために国に拠出している納付金です。前年度は精算額の影響*で一時的に減少しましたが、2021年度は5億3,900万円増の15億9,900万円（前年度比150.8%）となり、1人当たりの金額も286,442円から426,815円と14万円以上も増加しました。ほぼ予算通りの金額ではありましたが、団塊の世代が後期高齢者へと移行している現在、アボット健保の負担は今後、さらに重くなっていくものと予測されます。

保健事業費については、3億3,300万円支出しました。みなさまの健康づくりのための費用として、健診費用補助（オプション検査、二次検査・再検査含む）、特定保健指導（遠隔面談）、インフルエンザ予防接種費用補助、各種健康相談事業、カフェテリアプランサービス等に支出しました。2021年度に実施した主な保健事業については4～5ページに掲載しています。また、2021年度に実施した新型コロナワクチン職域接種費用は、疾病予防費として計上しました。

* 納付金は2年後に2年前に概算で支払った金額を確定した金額で精算するしくみになっています。

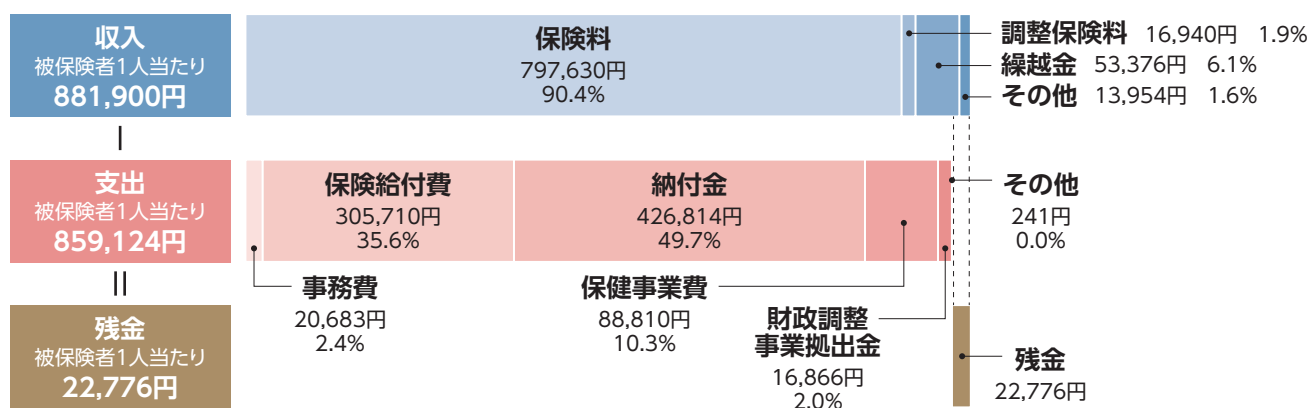


介護勘定

健康保険組合は、40歳以上の方の介護保険料の徴収を国から代行し、介護納付金として国に納めています。アボット健保では国に収める介護納付金の額が年々増加しているため、介護保険料率を2021年度からそれまでの17%から20%へ改定し、対応いたしました。2021年度は、一般勘定同様、総標準賞与額が減額となったため、何とか2,100万円の黒字となり、決算残金2,100万円は法定準備金に積み増しました。



グラフで見る収支(一般勘定)と1人当たりの金額



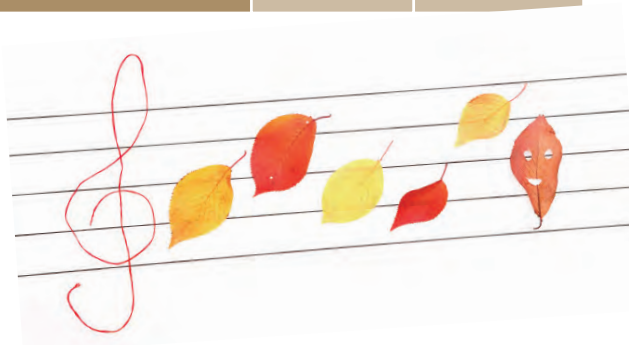
2021年度収入支出決算

一般勘定(健康保険分)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人 当たり額(千円)
収入	保険料収入	2,988,719	797,630
	調整保険料	63,476	16,940
	繰入金	200,000	53,376
	その他	52,286	13,954
	合 計	3,304,481	881,900
支出	事務費	77,500	20,683
	保険給付費	1,145,496	305,710
	納付金	1,599,273	426,814
	保健事業費	332,771	88,810
	財政調整事業拠出金	63,196	16,866
	その他	904	241
	合 計	3,219,140	859,124
	収支差引額	85,341	22,776

介護勘定(介護保険分)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人 当たり額(千円)
収入	保険料収入	539,126	162,681
	その他	1	0
	合 計	539,127	162,681
支出	納付金	518,079	156,330
	その他	0	0
	合 計	518,079	156,330
	収支差引額	21,048	6,351



2021年度実施

アボット健保の主な 保健事業



健康診断の費用補助

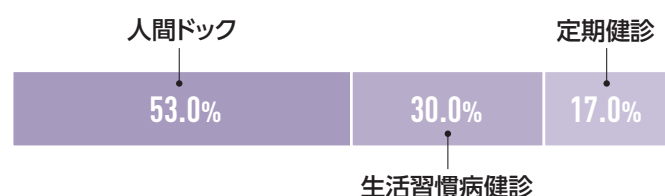
一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、巡回レディース健診及びオプション健診等の費用補助を行いました。

基本健診

2020年度は新型コロナによる受診控え等で被扶養者の受診者が伸び悩みましたが、2021年度は被扶養者で230名、全体で308名増加しました。また、2次検査(再検査)に対しては168名に費用補助しました。

	被保険者	被扶養者	合計	前年差
人間ドック	1,838名	381名	2,219名	+116名
生活習慣病健診	1,042名	322名	1,364名	+159名
定期健康診断	588名	69名	657名	+33名
合計	3,468名	772名	4,240名	+308名
前年差	78名	203名	308名	

■ 基本健診受診者の内訳



基本健診(一般健診・生活習慣病健診・家族健診・特定健診・人間ドック)を受診して2次検査(再検査)の結果となり2次検査(再検査)を受検される方へのお願い

オプション健診

オプション検査の多くは無料であり、自己負担のある検査はカフェテリアポイントを使って受診できます。被扶養者の受診者が増加したこともあり、婦人科検診を受ける人が増加しました。

	被保険者	被扶養者	合計	前年差
婦人科 乳がん	554名	554名	1,108名	+131名
検診 子宮がん	543名	532名	1,075名	+129名
胃部検査(X線)	64名	72名	136名	+15名
腹部超音波検査	520名	100名	620名	+17名
骨粗しょう症検査	456名	230名	686名	+63名
肝炎ウイルス検査	402名	150名	552名	-128名
前立腺がん検査	735名	2名	737名	+17名
大腸がん検査	80名	19名	99名	-15名
脳ドック	81名	8名	89名	+16名
アミノインデックス	18名	0名	18名	+5名
BNP検査	229名	11名	240名	+15名
ハート検診	156名	8名	164名	+23名
合計	3,838名	1,686名	5,524名	+288名

- 2次検査(再検査)費用の申請は、受検後6カ月以内です。申請期間を過ぎてしまった場合は、検査費用をお支払いできませんので予めご了承ください。
- 基本健診の結果が経過観察となり検査をお受けになった場合の検査費用は、補助の対象外です。



特定健診

2020年度は新型コロナの影響で40歳以上の被扶養者の受診率は49.1%でしたが、2021年度は例年並みの53.8%に回復しました。

	被保険者	被扶養者	合計	前年比
対象者	2,324名	1,006名	3,330名	97.7%
受診者	2,210名	541名	2,751名	100.8%
受診率	95.1%	53.8%	82.6%	



特定保健指導

特定保健指導の実施率は17.8%でした。対象者(40歳以上)は465名(積極的支援287名、動機付け支援178名)で、前年度より42名減少しました。

	対象者	申込者(申込率)	終了者(終了率)
積極的支援	287名	34名(11.8%)	5名(1.7%)
動機付け支援	178名	34名(19.1%)	13名(7.3%)
合計	465名	68名(14.6%)	18名(3.9%)

重症化予防対策

血糖・血圧が基準値以上の方に対し、保健師等の専門家によるサポートプランを実施しました。

健診MYページの運営

ホームページ上で「健診MYページ」を開設し、健診結果に対するリスク度の解説、Web上でのメタボ対策支援を実施しました。

ホームページの運営

各申請書のダウンロード、限度額適用申請、インフルエンザ予防接種費用補助の電子申請をはじめ、健診の予約、健診結果等も閲覧できます。英語版も公開しています。



カフェテリアプランによる各種サービス

1名あたり30,000ポイントを付与しました。2021年度の利用ポイントは105,468千ポイント、ポイント利用率は57.2%でした。使用されなかった64,553千ポイントは2022年度への繰り越しとなりました。

※カフェテリアプランについては14ページもご覧ください。

カフェテリアプラン 人気ランキング

1位	医薬品購入	4,069万ポイント(106.7%)	📈
2位	健康関連用品	2,972万ポイント(97.3%)	📈
3位	健康診断	2,046万ポイント(108.4%)	📈
4位	旅行・宿泊	667万ポイント(218.0%)	📈
5位	健康食品・サプリ購入	378万ポイント(117.8%)	📈

※前年度比 📈📉

機関誌「ふぁみりんく」の発行

健保の広報誌として年に2回(5月・11月)発行し、みなさまのご自宅に送付しました。予算・決算など重要事項のほか、保健事業の利用方法の案内や、「データヘルス計画」シリーズなどを掲載しました。また、4月に被保険者全員に「アボット健保ガイド」を配布しました。



メールマガジンの発行

データヘルス計画の一環として、「ヘルスリテラシーの向上」を目的に「健康づくり応援メルマガ」を発行しています。健保からのお知らせや、健康にまつわるニュースをイラスト付きで年3回発信しました。

インフルエンザ予防接種費用補助

上限3,500円として、3,370名の方に費用補助を行いました(電子申請2,146名・紙申請609名・集団接種615名)。申請は電子申請が便利ですので、ぜひご利用ください。

※2022年度のインフルエンザ予防接種費用補助につきましては、13ページをご覧ください。

こころの相談窓口

メンタルヘルスへの対応として電話によるこころの相談を実施しました(相談件数51件)。

電話による健康・医療相談

健康ライフのサポートと医療に対する不安や悩みの軽減を目的として「アボット健保健康相談ダイヤル24」を運営しました(相談件数1,819件)。

Web上での医療費通知

健康や医療費に対する認識を深めていただくため、健保のホームページ上で医療費の実績を通知しました。また、税制改正に対応し、確定申告にも使用できるようになっています。

育児誌の無料配布

子育てをする被保険者、被扶養者の支援ツールとして1年間提供いたしました(新規申込72件)。